

土岐川庄内川の 重点的に取り組むべき課題

治水上の課題



平成12年9月東海豪雨

< 降雨・流量 >

- ・原因: 台風14号と秋雨前線の影響
- ・降雨: 時間最大93mm、総雨量567mm (名古屋市内)
- ・ピーク流量: 枇杷島地点約3,500m³/s
多治見地点約1,500m³/s

< 主な被災など >

- ・新川: 破堤 (名古屋市西区)
- ・庄内川: 下之一色地区にて越水
約15kmにわたって水位がHWL超過
- ・浸水面積約19km²
- ・家屋浸水約18,100戸 (床上11,900、床下6,200)



(平成12年9月撮影)

浸水状況 (名古屋市中川区)



平成12年9月洪水浸水

激特事業の主な内容

< 庄内川の対策 >

築堤・堤防の強化

L = 13.6 km

河道の掘削

V = 140万m³

橋梁の改築と補強

改築1橋・補強4橋

洗堰の改築

約1m高上げ

越流量を270m³/sを70m³/s

に低減

小田井遊水地の改築

約1m高上げ

効果量140m³/s

防災情報システムの整備

河川監視体制の整備

水位雨量など情報提供

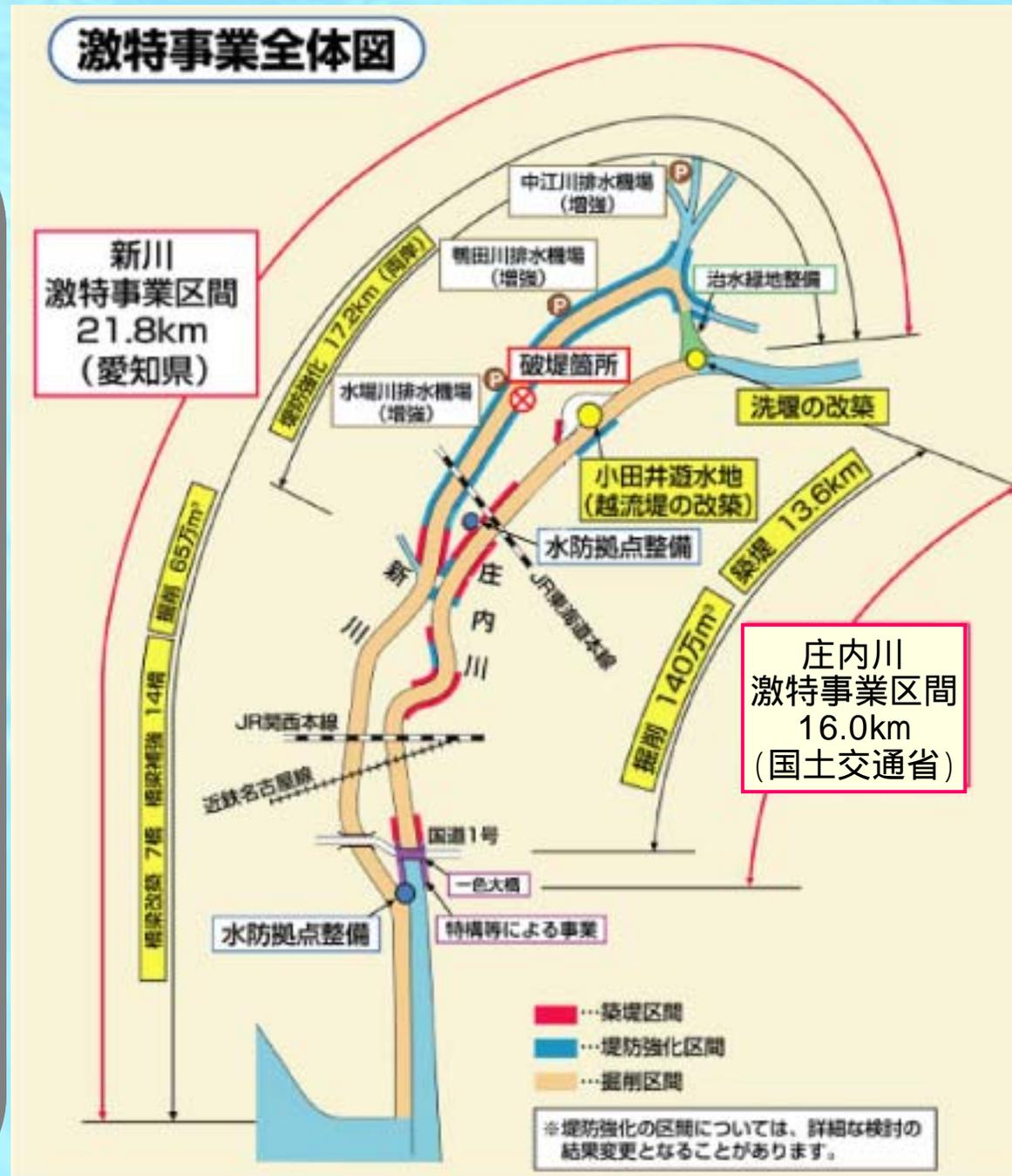
水防拠点の整備

2箇所

激特事業全体図

新川
激特事業区間
21.8km
(愛知県)

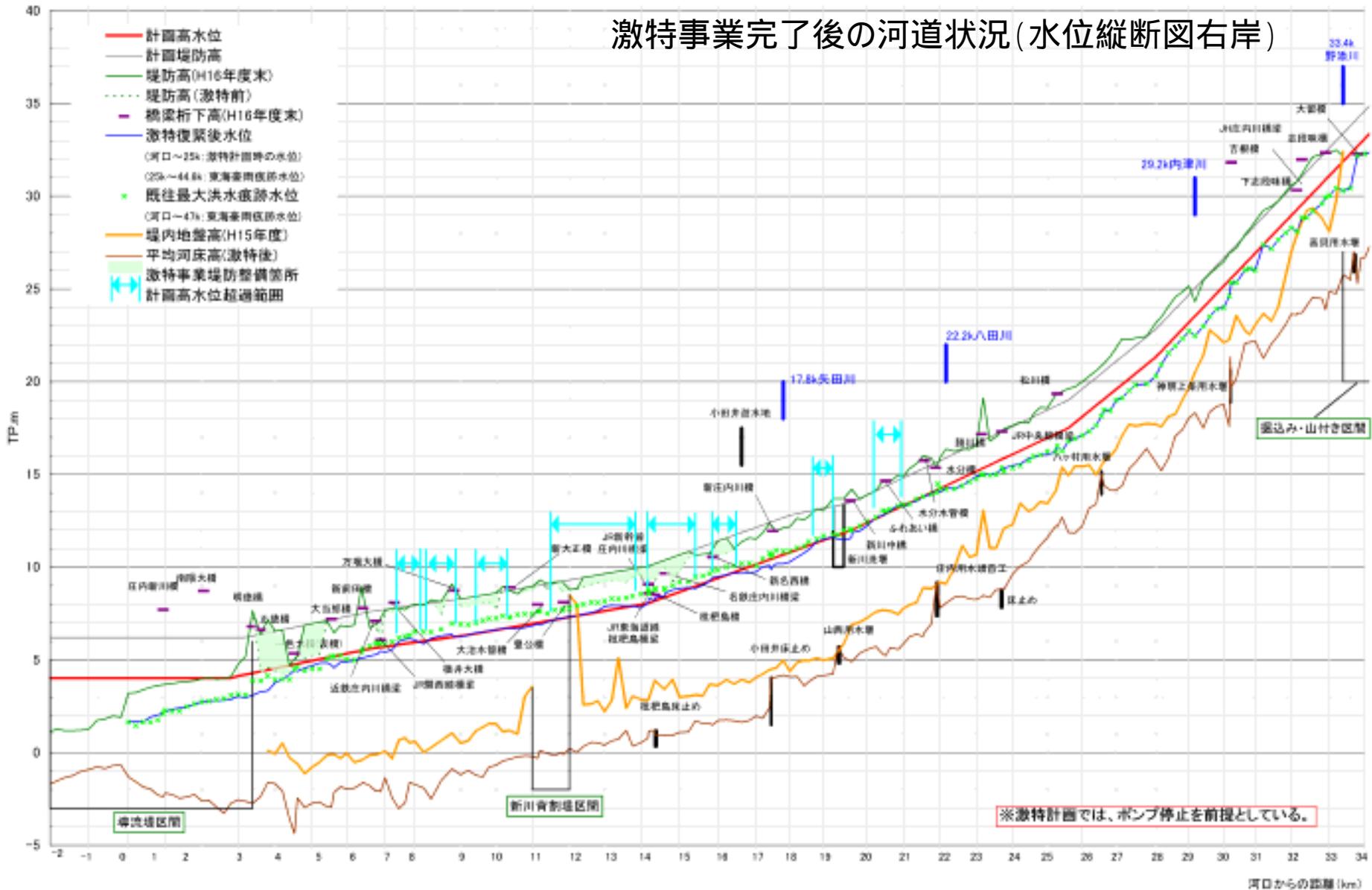
庄内川
激特事業区間
16.0km
(国土交通省)



都市河川にふさわしい安全性を備える

流域の状況に合わせた河川整備を行うこと

激特事業完了後の河道状況(水位縦断面図右岸)

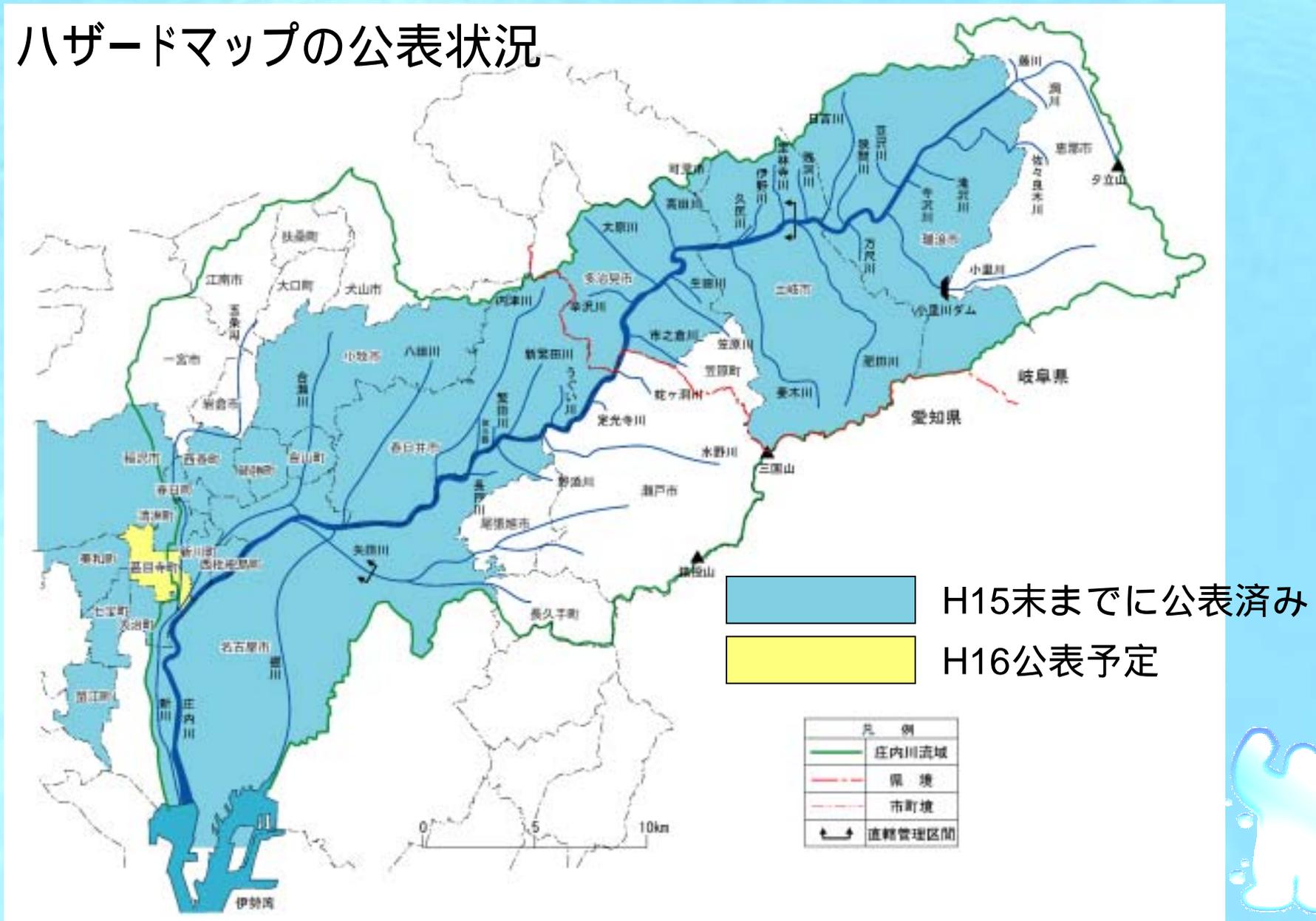


平成16年度末の河道状況(右岸:庄内川 河口~34.0km)

平成16年度末時点

都市河川にふさわしい安全性を備える

- 流域自治体や住民との連携による減災を目指すこと
- ## ハザードマップの公表状況



水利用と水環境から見た課題



地域や社会の状況を踏まえた水利用を行う

堀川への導水の経緯と状況

H10年9月

地下鉄工事に伴う湧水を導水（最大0.3m³/s）

H11年5月

「堀川を清流にしよう」（名古屋ライオンズクラブ等）
と呼びかけ、192,511名の市民の署名を集めた

H13年7月

地下鉄工事完了に伴う枯渇を防ぐため、
庄内川から暫定導水（最大0.3m³/s）

H14年7月

清流ルネッサンス 対象河川に選定

堀川水環境改善協議会で今後のあり方を検討

平成16年2月

堀川1000人調査隊が結成

堀川への試験導水時の各種調査

堀川清流ルネッサンス

（第二期水環境改善緊急行動計画）
（平成16年7月）

堀川の水環境の改善に向けて
下記事項に取り組む

【水量の確保】

庄内川からの導水0.3m³/s
地下鉄湧水など新規水源の開発

【水質の改善】

庄内川における水質改善
堀川での対策

- ・直接浄化
- ・河川水へのDO補給
- ・ヘドロの除去（浚渫）
- ・河道内のゴミの除去
- ・河道内食性の創出による
栄養塩除去
下水道事業
啓発活動



地域や社会の状況を踏まえた水利用を行う



一年のうち半分しか水がない名古屋市内の庄内用水に一年中水を流してほしいと運動している

「庄内用水、通年通水を」

地元団体 国などに署名簿提出

人の署名簿を国土交通省庄内川河川事務所と同市緑政土木局に提出した

がいたため、上流の北、西区の住民を対象に9月から署名を集めてきた。

庄内川河川事務所は「環境用水」という考えは

また一般的ではなく、水利権などの問題もあって難しいが、試験通水をしてみることも考えられると話した。用水を管理する同市は「国とも話し合い、通水期間を徐々に延ばして、その間に諸問題を解決していく方法もありそうだ」と述べた。

「庄内用水を環境用水にする会」(野々垣晃男会長)が1日、約3万1千

H16年12月2日(木)

朝日新聞朝刊

設立準備会が発足

庄内用水を環境用水にする会

北 区

市内最大の農業用水・悪臭を放ち、住民から苦情が出ているという。設立準備会は区政協力委員佐久間正義さん(北)が呼び掛けで開催。年中水があれば景観の美化や環境保護に役立つだけでなく、東海大地震が起きた時の防火用水としても利用できるとして、北区や西区の流域学区の役員や区政教育委員ら賛同者十人が集まった。

おり、通年の通水には、複雑な水利権などが壁になっている。参加者は通年通水の利点や市民運動の進め方、調査の方法などについて話し合った。

「流域の米作区域は最盛期の五十分の一となり、用水の役割は小さくなった。子どもたちが自然に親しみ、町を潤す水路に生まれ変わってほしい」と佐久間さん。

市河川計画課は「水がある地域環境が和む。整備について考えていかなければならぬ」と話していた。

(砂本 紅年)

H16年4月28日(水)

中日新聞朝刊(P24市民版)

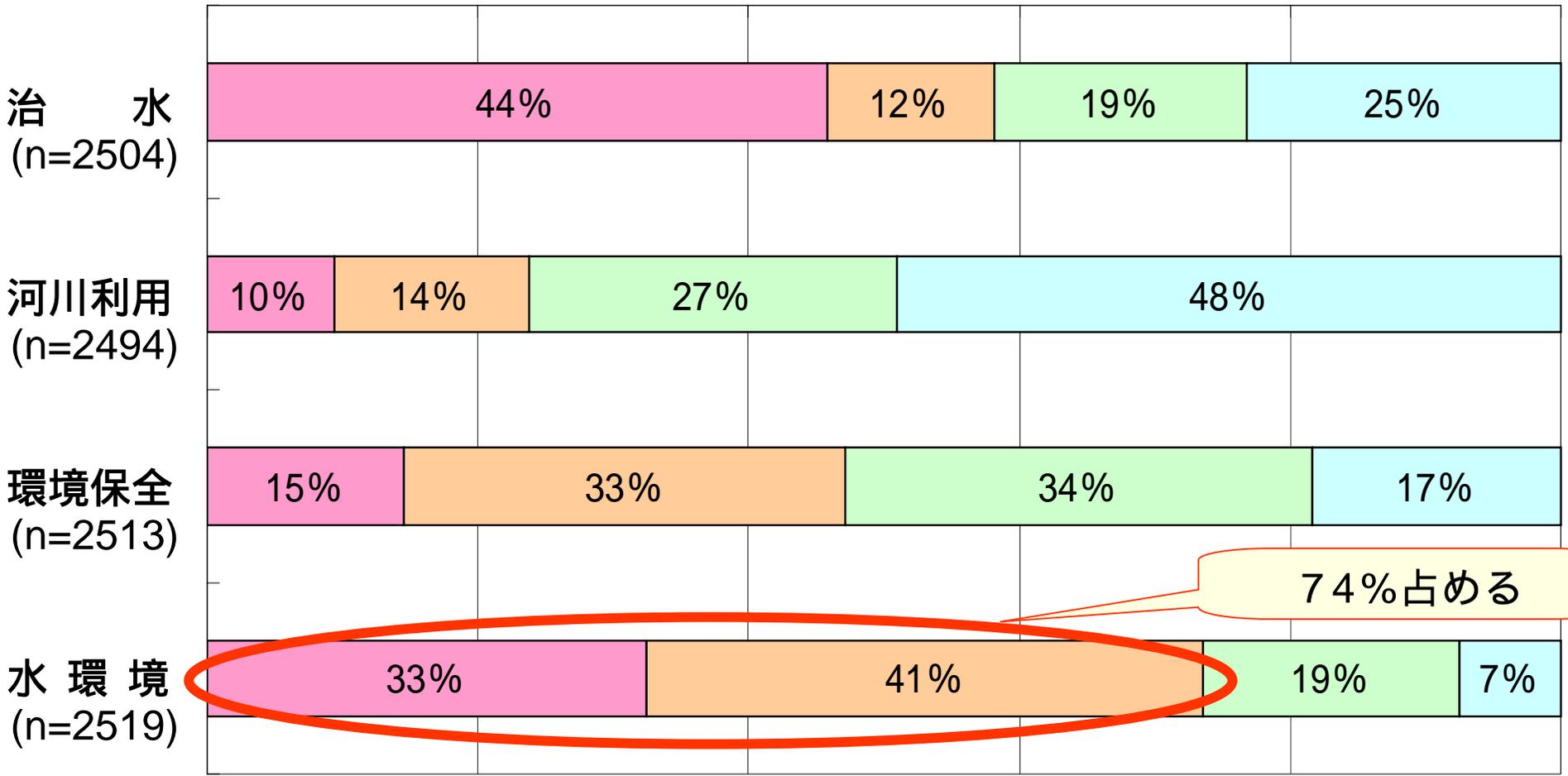


る

・ 市民からの要請

Q. どのようなことを重視して整備してほしいですか？

0% 20% 40% 60% 80% 100%



74%占める

1位 2位 3位 4位

る

● 浄化事業の実施状況



庄内川八田川合流部の浄化施設
(H16年10月撮影)

実験者の公募による浄化実験
公募により選定された5つの技術・システムによる浄化実験施設を設置、実験中。



市民と一緒にいる植物を使った実験



河川の自然環境から見た課題



人との関わりから見た課題



名古屋市の公園と庄内川

■都市公園の現況

平成13年4月1日現在

種 別		箇所数	面積 (ha)
住区 基幹公園	街区公園	1,085	244.77
	近隣公園	92	157.78
	地区公園	24	131.21
	小 計	1,201	533.76
都市 基幹公園	総合公園	6	193.25
	運動公園	4	70.85
	河川敷公園	21	133.38
	小 計	31	397.48
特殊公園	動植物公園	1	117.40
	墓 園	1	39.38
	歴史公園	2	0.85
	大通公園	2	23.21
	小 計	6	180.84
大規模公園	広域公園	3	300.20
	緩衝緑地	1	11.50
	広場公園	1	0.14
	都市緑地	34	15.76
	緑 道	13	19.17
都市公園 合計		1,290	1,458.85

庄内緑地40ha
総合公園の約21%

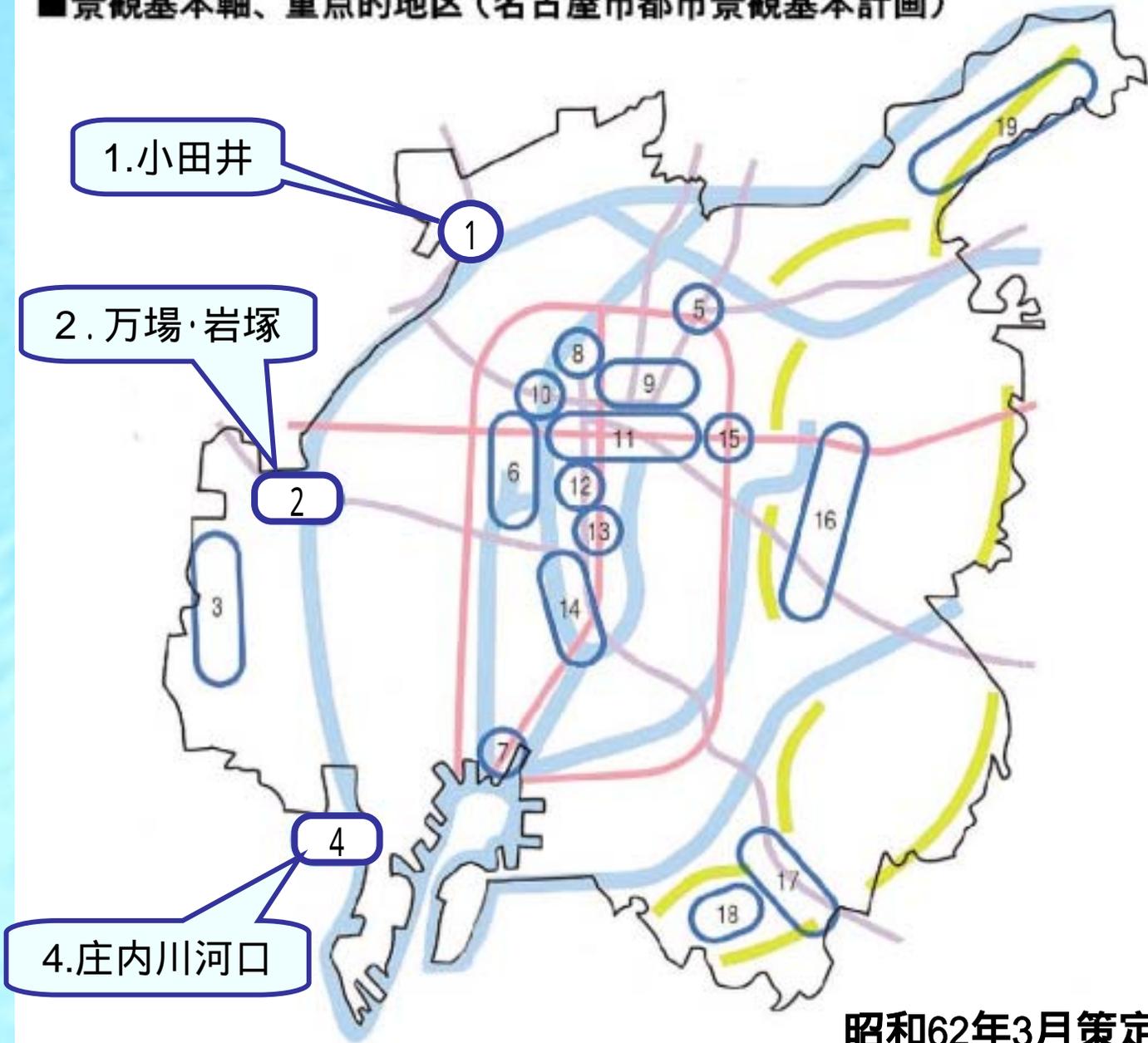
庄内川水系の
河川敷緑地121ha
河川敷公園の約91%

庄内川水系の
公園面積161ha
名古屋市の公園全体
の約11%

(注) 県営公園として、近隣公園1箇所0.98ha、地区公園1箇所7.60ha、広域公園3箇所300.20haを含む。

名古屋市の都市景観の整備方針と庄内川

■景観基本軸、重点的地区（名古屋市都市景観基本計画）



●重点的地区

名古屋の景観づくりを進めていく上で、特に重点的に優れた都市景観を創造し、または保全する必要がある地区であり、各地区内で順次都市景観整備地区を指定していく。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 小田井 | 11. 伏見・栄・新栄 |
| 2. 万場・岩塚 | 12. 大須 |
| 3. 戸田川 | 13. 金山 |
| 4. 庄内川河口 | 14. 熱田 |
| 5. 大曾根 | 15. 今池 |
| 6. 名駅・笹島 | 16. 四谷山手通 |
| 7. 築地 | 17. 鳴海・有松 |
| 8. 城 | 18. 大高 |
| 9. 城下東 | 19. 志段味 |
| 10. 那古野 | |

●景観基本軸

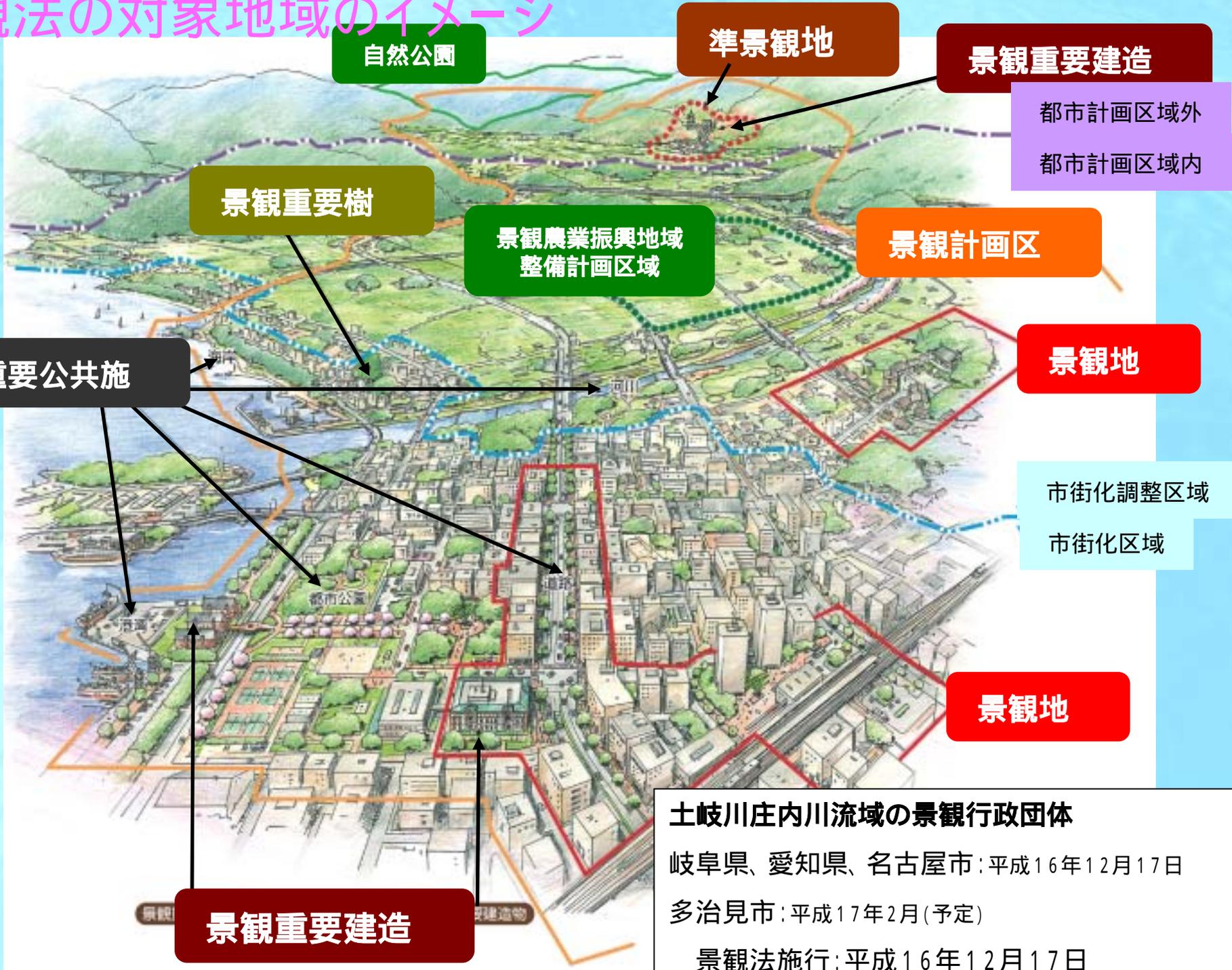
都市景観基本計画においては、都市景観の骨格となる河川、幹線道路などを景観基本軸として、景観整備の基本目標、方針などを示している。

●凡例

- | | | |
|--|-------|-------|
| | 重点的地区 | 景観基本軸 |
| | 道路 | |
| | 旧街道 | |
| | 緑 | |
| | 水 | |

昭和62年3月策定

景観法の対象地域のイメージ



土岐川庄内川流域の景観行政団体

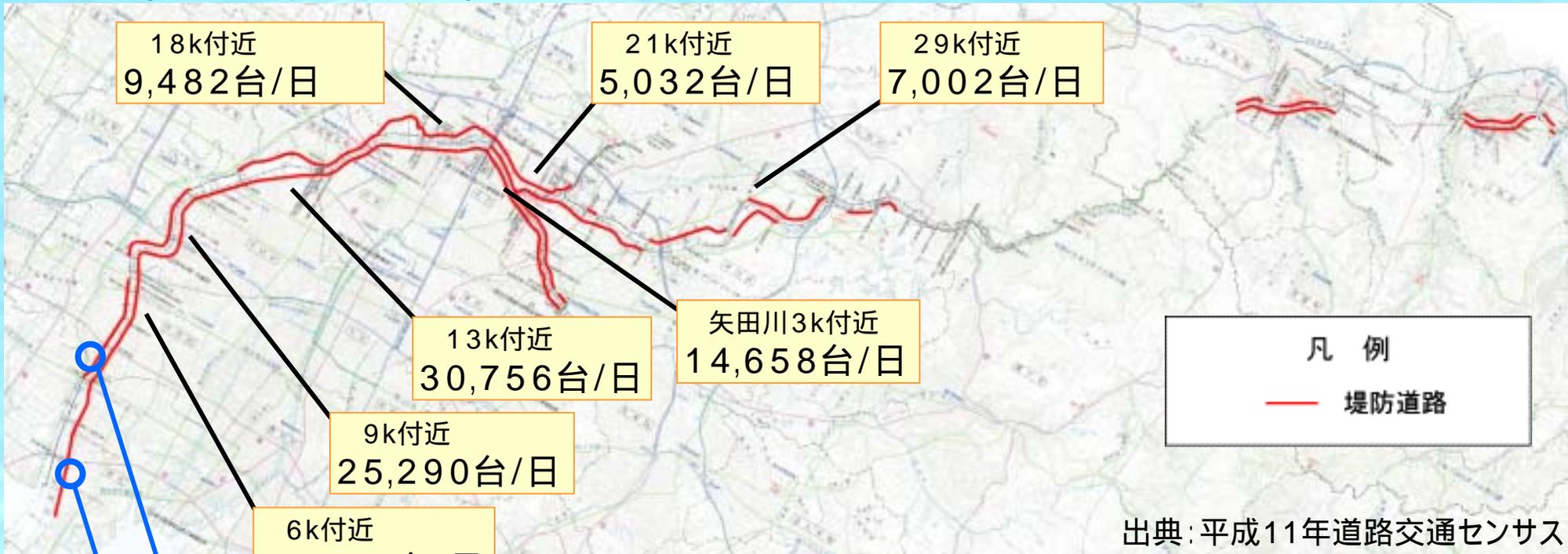
岐阜県、愛知県、名古屋市：平成16年12月17日

多治見市：平成17年2月(予定)

景観法施行：平成16年12月17日

治水機能を維持するための施設管理を行う 公共の河川空間として望ましい環境にする

● 堤防道路の利用状況



庄内新川橋東詰交差点の状況(0.5K付近)

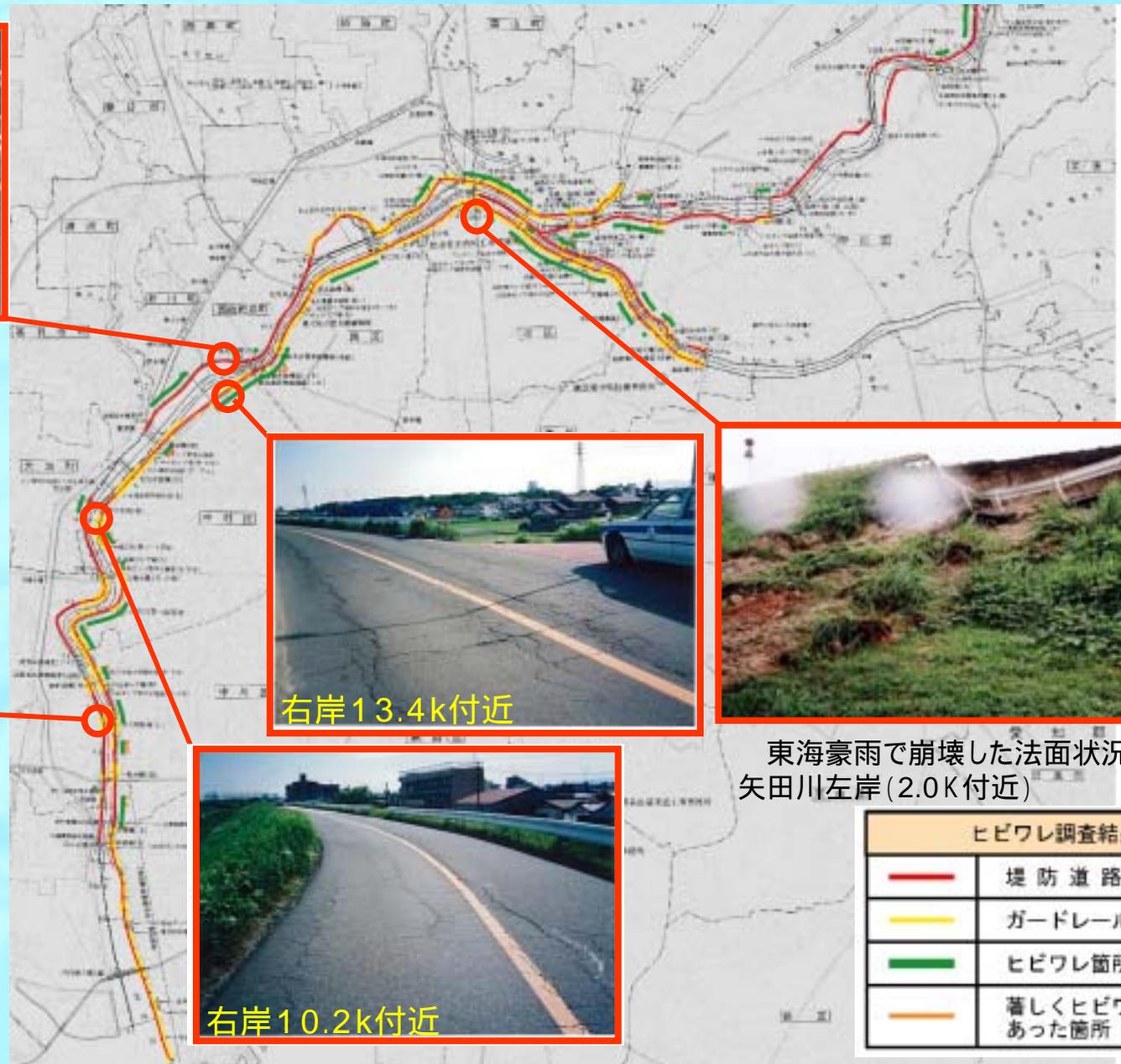


駐車車両が水防活動の支障となっている状況
一色大橋下流右岸(4.5K付近)(平成12年9月撮影)



治水機能を維持するための施設管理を行う

- 堤防道路の問題点(道路のひび割れ、ガードレール設置の状況)



左岸13.6k付近



左岸5.4k付近



右岸13.4k付近



右岸10.2k付近



東海豪雨で崩壊した法面状況
矢田川左岸(2.0K付近)

ヒビワレ調査結果	
	堤防道路
	ガードレール
	ヒビワレ箇所等
	著しくヒビワレ等があった箇所

公共の河川空間として望ましい環境にする

河川空間の利用とアクセス性の現状

凡 例	
	堤防道路
	坂路
	階段
	都市計画公園・緑地
	公園
	グラウンド
	ゴルフ場
	自動車学校

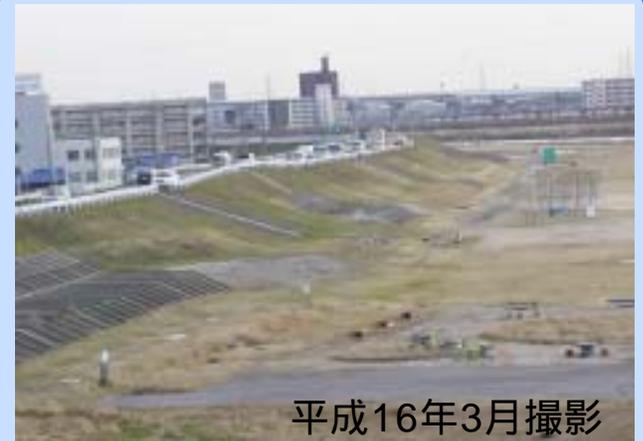


堤防道路により、堤内地から
高水敷利用箇所へのアクセスが困難

堤防道路により、堤内地から
高水敷利用箇所へのアクセスが困難



平成15年2月撮影
松陰公園(4.6K付近左岸)

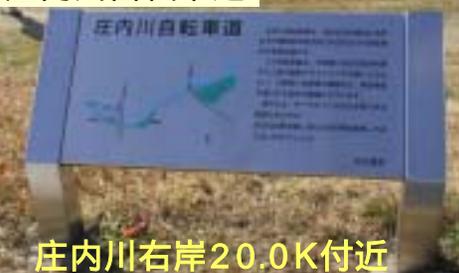


平成16年3月撮影
大正橋緑地(10.2k付近左岸)

公共の河川空間として望ましい環境にする

遊歩道、サイクリングロードの現状

庄内川自転車道



庄内川右岸20.0K付近



庄内川右岸22.4K付近

庄内川ふれあい緑道



八田川左岸0.5K付近

水分橋東緑地
サイクリングコース



庄内川右岸19.0K付近



天神橋緑地
サイクリングコース

宮前橋緑地
サイクリングコース

庄内川左岸21.6K付近



サイクリングコース

天神橋緑地
サイクリングコース

大幸公園
サイクリングコース

矢田川左岸2.6K付近



矢田川左岸4.2K付近天神橋緑地

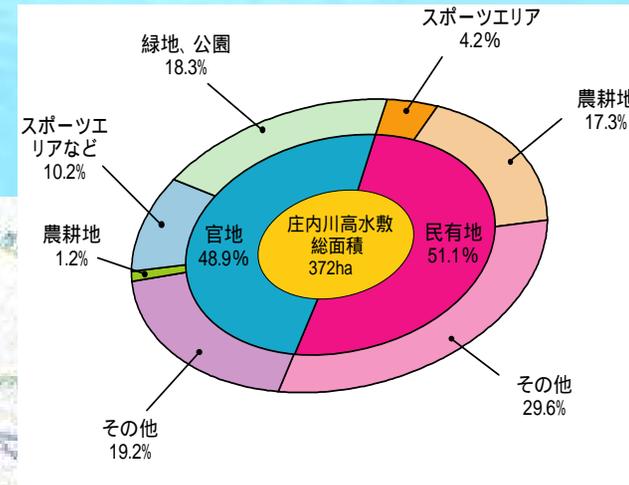


写真は平成17年2月撮影

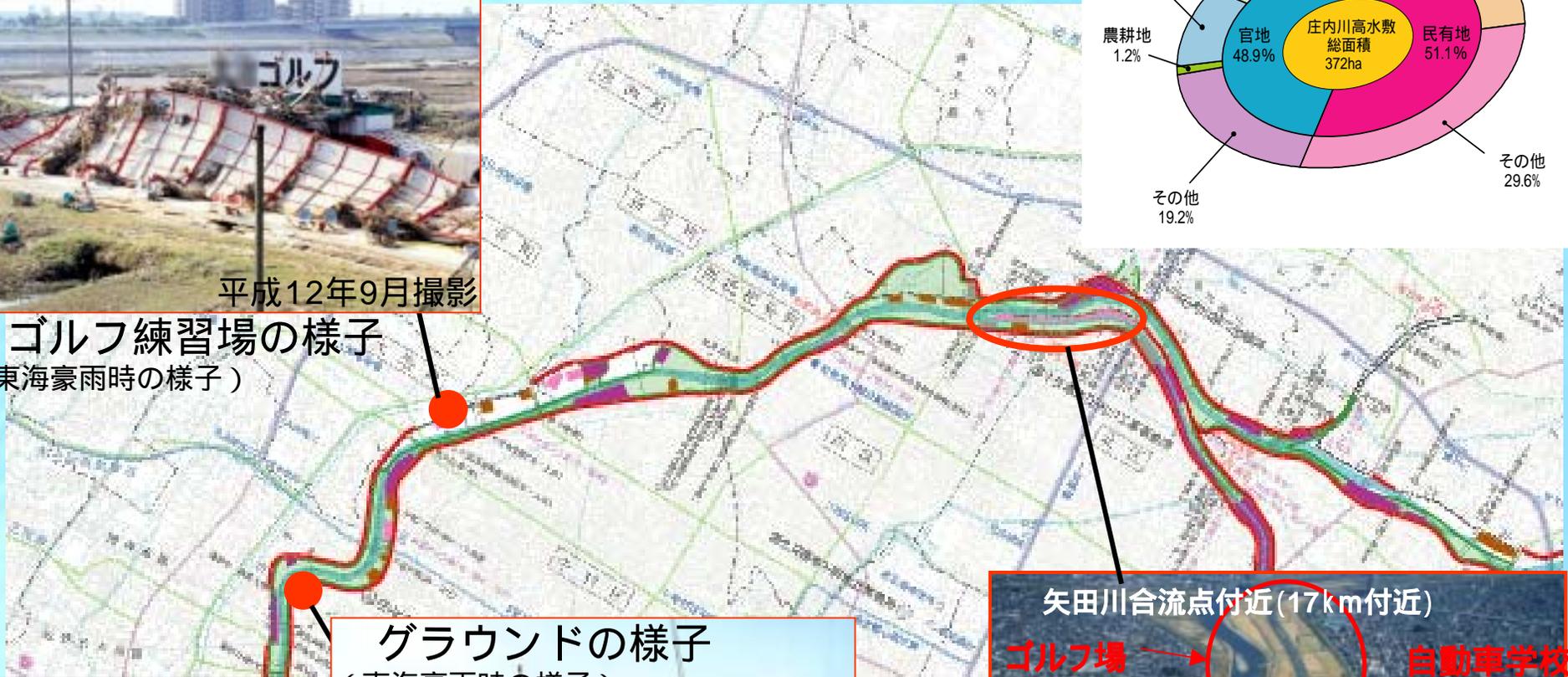


公共の河川空間として望ましい環境にする

適切な高水敷利用(東海豪雨時の状況)



ゴルフ練習場の様子
(東海豪雨時の様子)



グラウンドの様子
(東海豪雨時の様子)



矢田川合流点付近(17km付近)

ゴルフ場

自動車学校

平成16年3月撮影

凡例

- 堤防道路
- 都市計画公園・緑地
- 公園
- グラウンド
- ゴルフ場
- 自動車学校

地域に根ざした河川整備を行う

協働事業(アダプト事業)

愛知電機株式会社
(約10名)
ゴミの収集・集積・処理

王子製紙(株)
春日井工場
(1500名)
ゴミの収集、不法投棄巡視等

名古屋北リトルリーグ
野球協会
(約50名)
ゴミの収集、不法投棄巡視等

(有)アスモ綜工
(20名)
ゴミの収集

長須賀学区連絡協議会
(20名)
ゴミの収集

名古屋ファイターズ
中学部
(100名)
ゴミの収集

名古屋北シニアリーグ
野球協会
(約30名)
ゴミの収集、不法投棄巡視報告

名古屋市水辺研究会
(300名)
不法投棄連絡、除草管理、
水生生物等の調査、等

